

第 32 回 日本脊椎脊髄病学会奨励賞(大正 Award) 授与式

令和 2 年 9 月 7 日，第 49 回日本脊椎脊髄病学会会期中の会員総会において第 32 回日本脊椎脊髄病学会奨励賞（大正 Award）の授与式が現地と Web 参加のハイブリッド形式で行われました。

受賞者

基礎部門：北海道大学大学院医学研究院 大西貴士先生

臨床部門：大阪市立大学整形外科 高橋真治先生

松山幸弘理事長と大正製薬株式会社成川淳一様から賞状・目録および盾の授与が行われました。大西先生は Web 参加，高橋先生は現地参加での授与式となりました。受賞されたお二人からコメントをいただいております。

大西貴士先生のコメント

この度は、このような栄誉ある賞を賜り、大変うれしく思います。

椎間板内で細胞のアポトーシスを抑制することは、組織変性を妨げることから、アポトーシスは椎間板変性において重要な役割を果たしている可能性があります。我々は、caspase-3 knock out マウスを用いて、外傷により惹起された椎間板変性の進行は遅延するものの、加齢により惹起された椎間板変性の進行は加速することを示しました。本結果は、短期間の caspase-3 抑制が、外傷により惹起される椎間板変性の治療に適用できる可能性を示しました。

今後もこれを励みに、学術活動、臨床共に精進してまいります。



高橋真治先生のコメント

このような栄えある賞を幸運にも受賞することができ大変うれしく思います。本研究成
果は当教室の関連病院を含めた多くの先生方のご協力のおかげです。研究内容としては
BKP の前向き研究による術後隣接椎体骨折の予測です。現在は研究結果をもとに隣接
椎体骨折が予測される場合には後方固定を追加するなどの工夫をしており、その治療成
績を比較していく予定です。今後も臨床に結び付くような研究に励むとともに自己研鑽
を積み、臨床・教育にも貢献できればと思います。

